

(様式第4号)

上田市行財政改革推進委員会 会議概要

1 審議会名	第3回 上田市行財政改革推進委員会 (財政についての勉強会)
2 日時	令和2年11月6日 午後2時から午後4時まで
3 会場	市役所東庁舎 2階 第3会議室
4 出席者	増澤会長、岩木副会長、井上委員、倉寫委員、清水委員、鈴木委員 高橋委員、竹内委員、手塚委員、増子委員、丸山委員、山極委員、吉池委員
5 市側出席者	財政課 堀内課長補佐 (講師) 中村総務部長、小林行政管理課長、小林行政改革担当係長 宮下行政管理課主査、坂口行政管理課主査
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人 (勉強会のため、傍聴者なし)
8 会議概要作成年月日	令和2年11月10日

協 議 事 項 等

1 開 会 (行政管理課長)
2 あいさつ (会長) お忙しいところ、委員の皆様にはお集まりいただき感謝申し上げます。 新型コロナウイルス感染症の影響で、景気は冷え込んでおり、国等の政策の効果によって、若干持ち直してはいるものの、依然厳しい状態が続いている。国の予算編成については、新型コロナウイルス感染症や台風19号の復興等の支出の増加が見込まれる一方、税収は大きく落ち込むことが予想されることから、大変厳しい予算編成になっていることが新聞等で報道されている。 また、ヨーロッパ諸国においては、第3波と言われているが、新型コロナウイルス感染症感染者の増加によって、ロックダウン等の措置が取られることが報じられている。感染症対策と経済活動の両立は非常に難しい問題だと改めて実感している。 上田市の財政についても、新型コロナウイルス感染症の影響や、人口減少、社会保障費の増加、老朽化した公共施設やインフラ設備の維持管理費の増大など、今後厳しい状況になると思われる。 本日は、財政課の堀内課長補佐を講師に迎え、市の財政状況について御説明をお願いしている。委員の皆さんも積極的かつ活発に御議論をいただき、本日の研修の成果を今後の当委員会の中でお役立ていただければと思う。
3 議 事 (1) 上田市の財政について 研修資料に沿って、財政課 堀内課長補佐 (講師) から説明
【質 問】 (委 員) 3点質問をお願いしたい。 1点目は、資料の市債残高の推移のグラフの部分で、普通会計と一般会計の違いについて教えていただきたい。 2点目は、市税の延滞はどの位あるのか。 3点目は、金利が上昇した場合、起債ではなく基金の取り崩しということもあるのかをお聞きしたい。 (講 師) 1点目の一般会計と普通会計の違いについては、普通会計は、一般会計に「土地取得事業特別会計」「同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計」「武石診療所事業特別会計」を加えたもの。 2点目の市税の滞納額については、現在約8億円 (令和元年度の調定額で)。令和元

年度は、うち2億円が歳入となっている。

3点目の質問については、一般財源で賄えている状況なので、基金を取り崩すというところまではいかないと思う。

(委員) 歳入がいくらになったら厳しいという臨界点はシミュレーションしているのか。

(講師) 社会情勢や経済状況が変化するとシミュレーションを作っても大きく変わってしまうことから、作成はしていない。例えば、昨年発生した災害や新型コロナウイルス感染症の影響によって、今後の見通しが全く変わってしまった。想定外のことに備えて平時から基金等を温存しておくことが大切だと考えている。ただ、10年、20年先のシミュレーションはしていないが、3年先程度の見通しは立てている。

(委員) この先、人口が20~30%減ると、税収も20%~30%減ることになると予想されるが、人口が減っても公共施設やインフラの維持のため、歳出はあまり減らないのではないかと考える中で、この問題をどう捉えれば良いか。

(講師) 5~10年先の税収がどうなっているかを見込むことは誰もできないのではないかといいう程、見通しが難しい。1年1年柔軟に対応するしかないのではないかと。先を見越して余分な支出を減らし収入に見合った運営をしていくということを、積み重ねていくことにつきるのではないかと思う。

(委員) 資料には類似団体と比較しているものがいくつかあるが、類似団体の定義と何団体あるのかを教えてほしい。

(講師) 本日、詳細な資料を持ち合わせていないのだが、17の団体が類似団体となっており、そこに人口14万人程度の団体も加え、約30~40の団体を参考に検討を行っている。

(事務局) 人口に加え、産業構造なども考慮して類似団体として比較をしている。

(会長) 上田市は、他の団体に比べて公共施設が多いと思う。これは、良い時代が早く来て、その時にかなり色々なものを整備してきたということであると思うが、今はそれが老朽化してきて重荷になってきている部分があるのではないかと。ただ、今日の説明を聞いて、今のところ健全な財政状況であることが分かって安心した。

良い時代(公共施設を新設できた時代)の指標(財政指標)も、市民への説明資料として必要かもしれないと感じた。

もう1点。上水道の民営化が一部で始まっているが、上田市の状況について伺いたい。

(事務局) 上水道事業の民営化については、検針や料金徴収は民間に委託しているが、水をつくる部分は市の水道局が担っている。

1点目の御質問については、確かに上田市は施設が多いように感じる。これは、合併したことも原因の一つであると思う。合併前に、各市町村で必要があるとして整備した施設であることから、一朝一夕に統廃合はできないだろうと思う。また、公共施設については、受益者負担の適正化についても考えていかないといけないことから、行財政改革大綱の策定後に、皆様に御審議いただきたい。

4 連絡事項

(事務局より) 次回の会議日程は、先日答申された第二次総合計画後期まちづくり計画の内容を踏まえた行財政改革大綱の素案としたいことから、11月中の開催は難しく、12月以降になってしまうと思う。御容赦願いたい。

5 閉会(会長)